

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

# パート・非常勤部会ニュース No. 10

大阪市北区錦町2-2 国労会館1F 大阪労連パート・非常勤部会 2008・6・2

## 第16回パート・臨時・派遣で働くなかまの全国交流集会

### 2日間で540人、大阪から18名が参加

5月24日（土）～25日（日）、「杜の都」仙台で、第16回パート・臨時・派遣で働くなかまの全国交流集会が開かれました。1日目は全体会で、シンポジウムが「貧困と格差と克服し、人間らしい働き方を実現するために」という内容で、春原（すのはら）雄策さん（NHKワーキングプア・チーフプロデューサー）と川西玲子さん（パート連絡会副代表・自治体関連協議長）、井筒百子さん（コーディネーター）で行われました。NHKで放映された「ワーキングプア」（漫画本を売って路上生活をしている男性の取材を編集し直したもの）の映像が流されると、会場は静まり返りました。

2日目は均等待遇、最低賃金、しゃべり場など6つの分科会に分かれて、討論を行いました。

1日目の全体会



シンポジウム



1日目終了後、仙台の街をパレード



地元の皆さんによる「スズメ踊り」



## 「たくさんのパワーと勇気をもらった」「おかしいと思えば声をあげる、決して諦めない」

2名の参加者から感想文をもらいましたので、以下掲載します。

大阪の福保労北河内支部で昨年の10月に非常勤部会が結成され、今年から事務局長という立場を担う事になりました。自分の不安や要求すらもはっきりと言葉にできず、「ただのわがままなのか？」と感じさせられることが多い中で、自分自身の先も見えなくなり、非常勤部会で今どのようなことが大切なのかも分からず、しんどくなる毎日でした。そんな時にこの集会が開かれると聞き、少しでも元気がもらえればと思い、参加しました。

一日目の全体会では、現代社会にあるワーキングプアの現状のお話や立ち上がるみなさんの声を聞く中で、こんなにも多くの人が同じように苦しみ、悲しみ、そして怒っているのだということを知ることができました。中でも「人間の尊厳をかけた闘い」「人間らしく大切に扱われ、人間らしい働き方をしたい」という言葉は胸に響き、私が感じていた事を言葉に表してくれているようなお話でした。

二日目の分科会では、非正規であっても、どんな要求をしてもいいのだという自信をもらいました。非正規雇用だから…とっていたことも、雇用形態に関係なく主張し、よりよい職場環境を整えていくことができるのだということを知る事ができました。そして、雇用形態を超えて理解しあうことの大切さも感じました。

二日間にわたり、たくさんのパワーと勇気をもらうことができました。そして明日からまた“自分の職場環境をよくしていこう！”と思える原動力を蓄える事ができたように思います。まずは「よく話すこと」を大切にしながら、いろんな視点での学習会を進めていきたいと思います。

夜の福保労の交流会では、悲しい現実ばかりですが共感する場面が多くとても楽しかったです。

福祉保育労 Tさん

ワーキングプアが急増している現在、親が子どもを養えなくて子どもがコンビニの捨ててある弁当を食べているという現実などを見るにつけ、胸が痛みます。このような最悪な社会を考えると「人ごとではない、自分もいつ、何時？」と不安に思います。

ますます貧富の差も広がっていくような危機感も抱いています。

二日目の分科会Aでは、佐藤先生より例えば「働いた分は請求できる」などごく当たり前の権利を若い人ほど知らないという現実を知りました。このような悲惨な状況をなくす為にも学習が必要。また、おかしいと思えば声を上げる、上げた声を広げていく、決して諦めない、負けない、一人でも多く労働組合に結集していく、労働組合を有効活用するなど再確認しました。

京都生協パート労組の600人団交の報告（全分会から発言をし、会場から「賃上げコール」が沸き起こり、理事会は追い詰められ「ベースアップを検討する」と言わざるを得なくなった）では、団結が理事会を動かしたこと、感動し、勇気づけられました。…

生協労連

Kさん

### ☆第2回非正規交流会のご案内

- 日時 6月21日（土）14:00～16:00
- 場所 メセナ枚方
- 内容 全国交流集会の報告  
「蟹工船」のお話

主催：非正規交流会実行委員会・枚方労連

### ☆第3回 学習おしゃべり交流会のご案内

- 日時 6月4日（水） 19:00～
- 場所 サンスクエア堺
- 内容 非正規の労働諸条件改善  
講師：猿橋 眞さん

主催：堺労連 パート・非常勤部会